

平成27年度 北海道小学校長会 第4回理事研修会

第67回全連小山口大会について



全連小山口大会の報告をさせていただきたいと思う。松井会長佐藤研修部長と重ならない内容だけ話させてもらおう。分科会のグループ協議は、どちらかというところと広めるという情報交流の意味合いが強く、活発であった。

閉会式での次期大会地高知県のプレゼンが、大変印象的であった。限られた時間の中で、映像を交え、幟や鳴子をもって、30数名の校長先生方が、組織的にプレゼンをしていたことに強いインパクトを感じた。全国大会は、来年度が高知県、その次が佐賀県、そして3年後が北海道函館となっている。2年後の佐賀大会の閉会式で北海道がプレゼンを行うことになる。その準備を進める必要がある。

最後に、運営面では、山口県の校長先生方全員がオレンジ色のジャンパーを着て、会場の出入り口や宇部山口空港までジャンパーを着た方が出迎えていただいて、おもてなしの心を伝えていただいた。全国大会のスケールの大きさ、2500人の校長先生方と触れあうことができ、様々な情報を教えていただき、勉強させていただいたことをお伝えし報告に代える。